平成３０年　７月１９日

ごあいさつ

　神奈川県民間知的障害施設協同会は、多様化する施設運営や雇用形態などに対応し、会員施設の規程類の整備にご活用、ご参考にしていただければと考え、平成５年（１９９３年）に「規程類モデル集」を発刊いたしました。

　その後、平成１４年（２００２年）に「規程モデル集」第２版を発行し、平成１６年（２００４年）に「パート職員モデル就業規則」と「パート職員の法律問題Q&A」を発行、平成１７年（２００５年）には、規程類の全面見直しを行い、「規程モデル集」の第３版として発行しています。平成２５年（２０１３年）には、「運営規程モデル」「「パワーハラスメントの防止に関する規定」を新たに加え、「定款」、「経理規程」、「作業工賃規程」、「就業規則」、「パートタイマー就業規則」、「育児・介護休業規程」、「再雇用制度に関する規程」、「賞罰委員会に関する細則」を見直して、第４版として「規程類モデル集２０１３年」を発行しています。

　平成２９年（２０１７年）、社会福祉法の改正という変革もあり、「定款」を始め、関係法令に基づく規程の見直しや新規規程の制定などが行われました。就業規則も度々改正されていることや「特定個人情報保護規程」、「虐待防止規程」の制定などもあり、今回規程集を全面的に見直して第５版として「規程類モデル集　２０１８」を発行する運びとなりました。

　今回の改定では目次に表記されているように「◎」のある規程類が新規、「○」のある規程類は見直しを行い、「●」のある規程類は前回と同じ内容で掲載しています。

また、事例として掲載した規程類は、国・県・市などの官公庁や都道府県の社会福祉協議会が、ホームページ上で公開している事例を中心としています。引用先を事例規程の右上に掲載させていただきました。引用先には掲載された規程以外にも規程例が明示されていますので、ご活用も可能かと考えています。

今回の規程集の改定にあたっては、根拠法令等を確認しながら作業を進めてまいりました。

お示しした参考事例規程を、個々の法人の規程集との整合性や法人組織に即した経営や運営についての参考として、ご活用、お役立ていただければと考えております。

　最後に、今回の「規程モデル集」の作成にあたり、当会の経営管理部会の会員とご協力をいただいた施設関係者の皆様に心から感謝するとともに、今後も当会の活動にご協力、ご理解、ご指導を賜りますようお願い申し上げご挨拶とします。

神奈川県民間知的障害施設協同会

会　長　　目黒　裕